

王朝交代—倭国から日本国へ

古田史学の会論集『古代に真実を求めて』—明石書店—も記念すべき第二十集を迎えました。今回のテーマは『失われた倭国年号《大和朝廷以前》』です。

講演会を東京家政学院大学にて開催いたしますので是非ともご参加をお願いします。

主催：古田史学の会 後援：東京古田会、多元的古代研究会

講演会開催次第：平成 29 年 10 月 15 日（日） 13：00 開会

13：00～13：10 開会の挨拶

13：10～14：00 講演 「失われた倭国年号《大和朝廷以前》」 古賀達也

・なぜ今、倭国年号特集の発刊か ・倭国年号（九州年号）から見える古代史

14：10～14：40 講演 「倭国年号建元の真相」 服部静尚

・卑弥呼から倭の五王まで ・冊封からの離脱・倭国の独立

14：50～16：20 講演 「王朝交代—倭国から日本国へ」 正木 裕

・中国歴代王朝の証言 ・倭国と大和朝廷を「繋ぐ」天智の近江朝

16：20～16：50 質疑応答

16：50～17：00 閉会の挨拶 多元的古代研究会代表 安藤哲朗様

◎予約申し込み不要、当日受付。参加費 1,000 円 学生は無料とします。

日時：平成 29 年 10 月 15 日（日）13 時～17 時

場所：東京家政学院大学千代田キャンパス 1 号館 4 階教室（1407）

東京都千代田区三番町 22 番地



的に始まった「九州年号」の研究。その集大成をこころみた書の発刊です。

倭国は九州王朝の国です。その九州王朝の年号が「九州年号」、つまりこれが「倭国年号」なのです。

今なぜ年号の研究なのか？現代の歴史学者が手つかずで放置していた「倭国年号」が、古代史において如何に重要なテーマなのかについて迫ります。

質疑の時間を十分にとりますので、是非ともご参加いただき、意見を述べてください。